

2026年4月14日

各位

一般財団法人 ひょうご経済研究所

「兵庫県就職希望企業調査 2027」の実施結果について

みなと銀行グループのひょうご経済研究所(理事長 武市 寿一)は、兵庫県就職希望企業調査 2027 を実施しましたので、その調査結果をお知らせします。

本調査は、就職活動をおこなう学生の考え等を幅広く把握することで、兵庫県内企業の学生向け発信力強化につなげ、兵庫県の課題である県内就職率の向上を目指して、今回初めて実施しました。

今後についても、学生の就職活動の動向を把握し、兵庫県内企業の人財採用の方針や取り組みなどが学生に伝わるよう、本調査を通じて応援していきます。

■景況調査の概要

実施時期	2026年1月～2026年2月
調査対象	以下の学生を対象とした510名 ・兵庫県内の大学等に所属する学生 ・兵庫県内に居住する県外の大学等に所属する学生 ・兵庫県内を主たる帰省地とする県外の大学等に所属する学生
調査方法	インターネット調査 ・就職希望企業を志望度順に最大10社選択(5社までは必須選択) ・志望度の各順位でポイント換算し、兵庫県関連企業に限定してポイント合計をランキング(企業名のデータベースは、2025年9月時点のもの)

調査結果の概要と詳細は、別紙の通りです。ご参照下さい。

以上

兵庫県就職希望企業調査2027

2026年 4月14日

一般財団法人ひょうご経済研究所

1. 調査の概要

(1) 調査の狙い

兵庫県の課題である「県内就職率の向上」のために調査を実施

兵庫県内企業の学生向け発信力の強化の指標として継続的に調査し公表

(2) 調査の方法

兵庫県内の大学・短期大学・高等専門学校等のキャリアセンター、連携機関等を通じてWEBアンケートを就職活動中の学生向けに配信

(3) 調査の内容

- ①属性: 在学中の学校の所在地、居住地、主たる帰省地、在学中の学部・学科
- ②就職活動方針: 兵庫県内企業のみ活動、県内企業と関西圏企業に併願活動、県内企業と首都圏企業に併願活動等の質問
- ③就職希望企業を志望度順に企業データベースから最大10社選択(5社までは必須) → 企業データベース = 東京証券取引所上場企業 + 兵庫県内の年商10億円以上の企業 = 約8,000社、任意入力も可能

(4)アンケートの回収結果

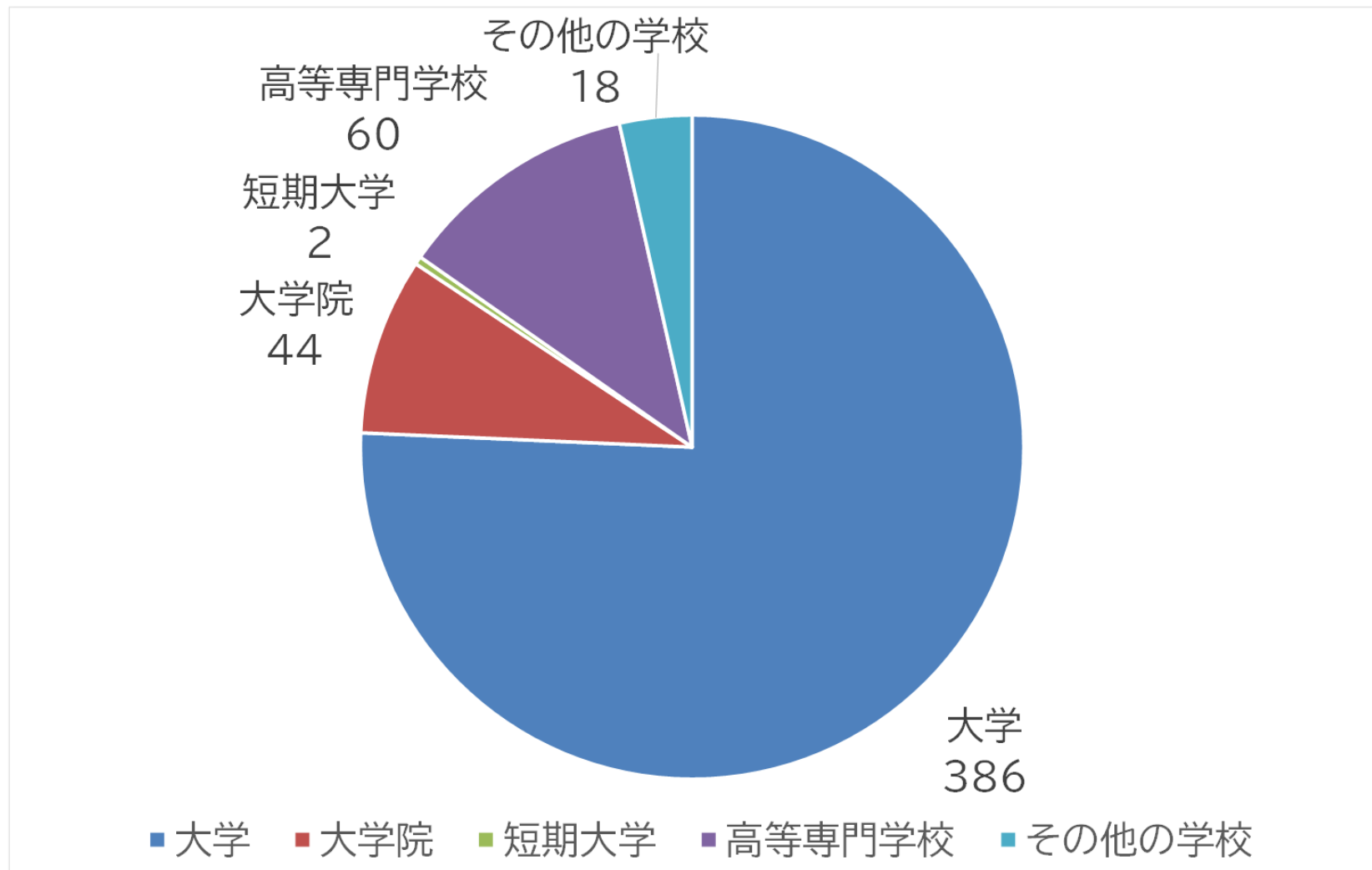
- 調査期間 2026年1月1日(木)～2月28日(土)
- 調査方法 インターネット上で就職希望企業をデータベースから志望度順に最大10社(5社までは必須選択)まで選択してもらい、1位:10ポイント、2位:9ポイント、3位:8ポイント…8位:3ポイント、9位:2ポイント、10位:1ポイントとして換算。兵庫県関連企業に限定してポイントにより『兵庫県就職希望企業ランキング2027』を決定。
(企業名は2025年9月時点のもの／社名は略称)

■集計対象学生数

集計対象学生	全体	文系	理系
兵庫県内の大学等に所属する学生数	412	276	136
兵庫県内に居住し県外の大学等に所属する学生数	52	32	20
兵庫県内を主たる帰省地とし県外の大学等に所属する学生数	46	18	28
合計	510	326	184

(5)回答いただいた学生の属性

①在籍中の学校の種別



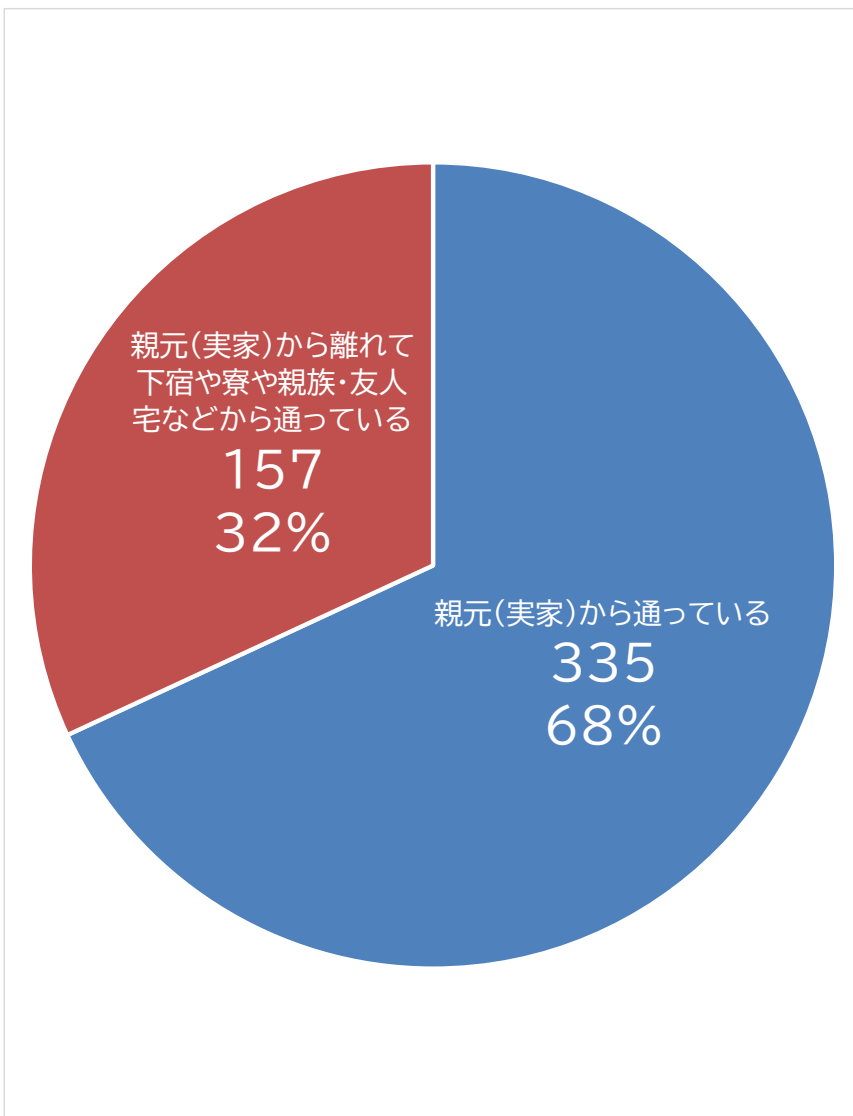
②在籍中の学校等の所在地

		回答数	比率
1	兵庫県	320	65.0%
2	大阪府	73	14.8%
3	京都府	45	9.1%
4	東京都	9	1.8%
5	北海道	5	1.0%
5	岡山県	5	1.0%
5	広島県	5	1.0%
8	徳島県	4	0.8%
9	滋賀県	3	0.6%
9	奈良県	3	0.6%
	その他	20	4.1%
	合計	492	100.0%

③現在の居住地

		回答数	比率
1	兵庫県	357	72.6%
2	大阪府	56	11.4%
3	京都府	21	4.3%
4	奈良県	12	2.4%
5	東京都	7	1.4%
6	滋賀県	6	1.2%
7	北海道	5	1.0%
8	広島県	4	0.8%
8	徳島県	4	0.8%
10	島根県	3	0.6%
	その他	17	3.5%
	合計	492	100.0%

④通学形態と帰省地



【親元以外から通っている学生の帰省地】

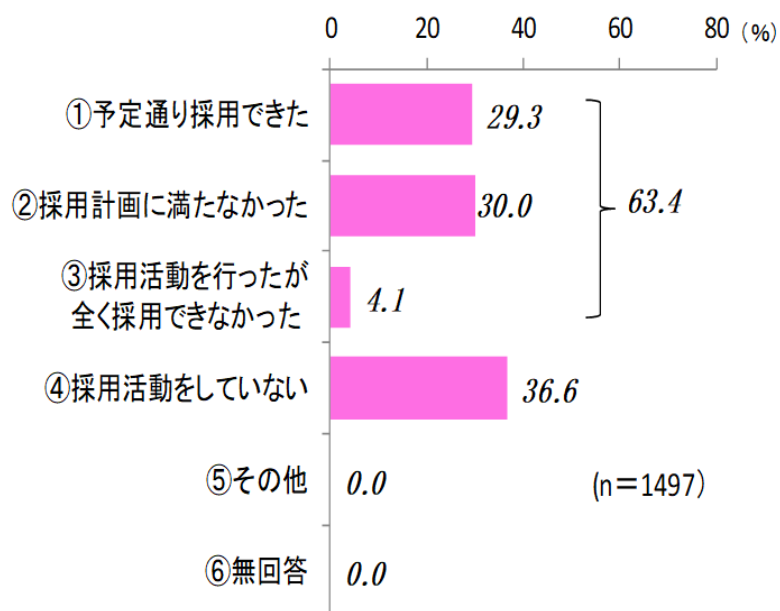
		回答数	比率
1	兵庫県	80	51.0%
2	香川県	17	10.8%
3	日本以外	6	3.8%
4	岡山県	5	3.2%
5	京都府	4	2.5%
5	奈良県	4	2.5%
5	鳥取県	4	2.5%
5	広島県	4	2.5%
5	愛媛県	4	2.5%
10	石川県	3	1.9%
10	長崎県	3	1.9%
	その他	23	14.6%
	合計	157	100.0%

2. 企業の採用実績と方針(兵庫県内中小企業の景況調査から)

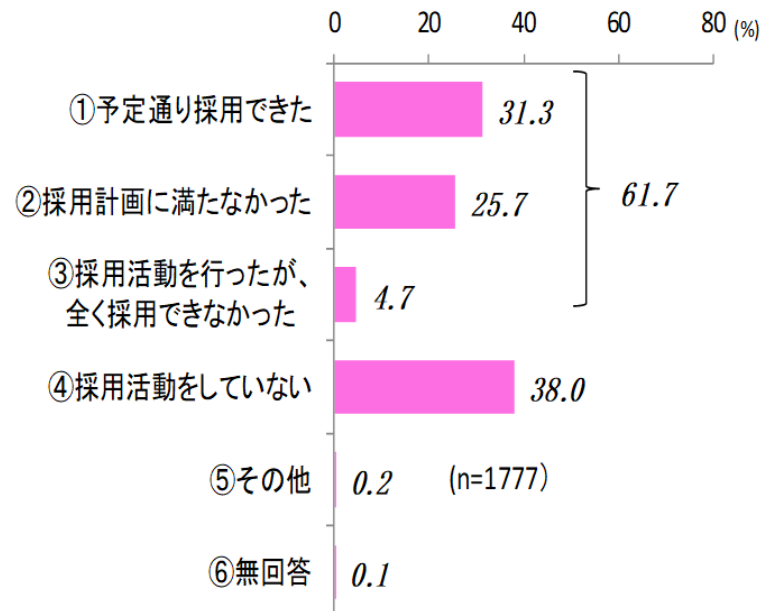
(1)2025年度の採用実績

- ・2025年度に採用活動を行った企業(①+②+③)は63.4%で、前年比1.7ポイント上昇
- ・「④採用活動をしていない」企業は36.6%と同1.4ポイント低下
- ・規模別の採用実施状況は、中堅企業が90.9%と9割を超えるが、小規模企業は22.6%と2割強
- ・業種別の採用実施状況は医療・福祉が91.1%、サービス業が78.7%と実施割合が大きい

2025年度の採用実績



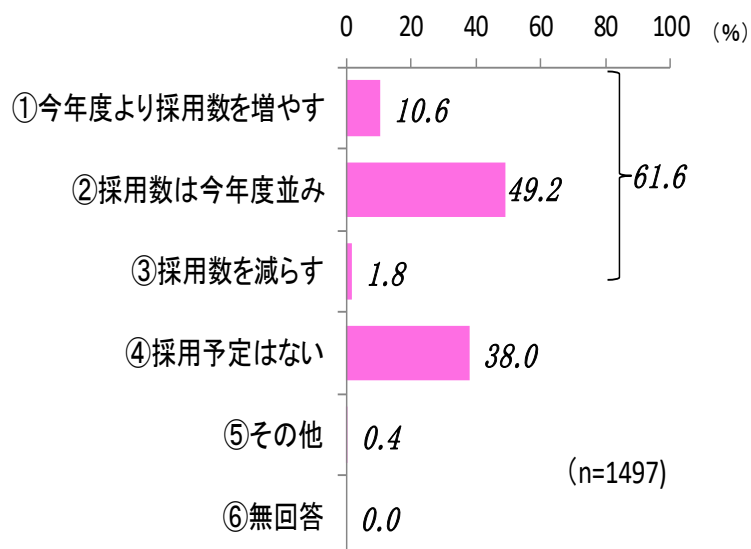
前回 (2024年度の採用実績)



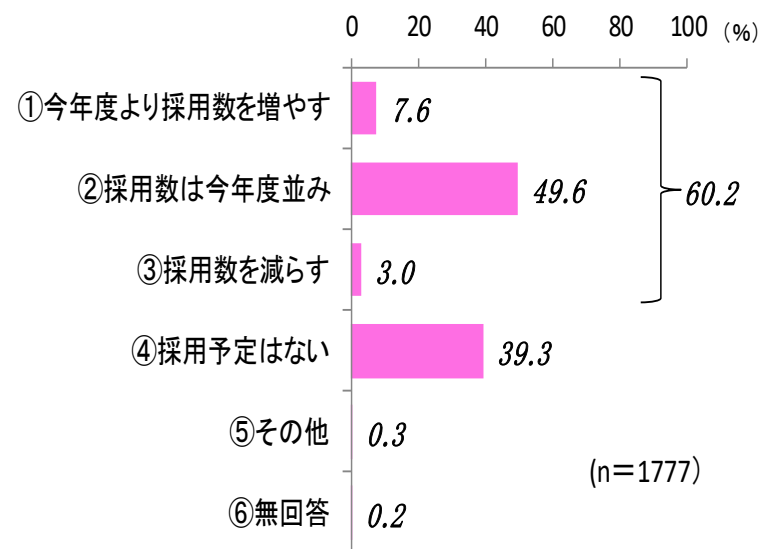
(2)2026年度の採用計画

- ・2026年度計画は、「採用を予定している企業」(①+②+③)は61.6%(前年度比+1.4ポイント)
- ・規模別の「採用を予定している企業」(①+②+③)は、中堅企業が88.7%、中小企業が64.6%、小規模企業は21.8%となっており、規模による差は大きい
- ・業種別では、「採用を予定している」(①+②+③)のは医療・福祉が88.7%、サービス業が77.9%、宿泊・飲食業が73.7%の順、卸売業と不動産業を除くすべての業種において「②採用数は今年度並み」と回答した企業の割合が最も大きい

2026年度の採用計画



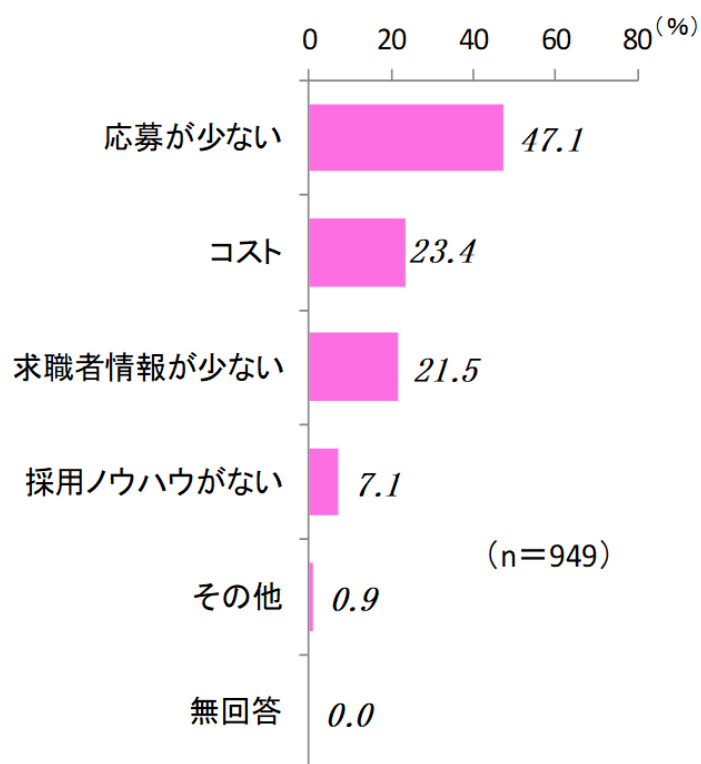
前回調査 (2025年度の採用計画)



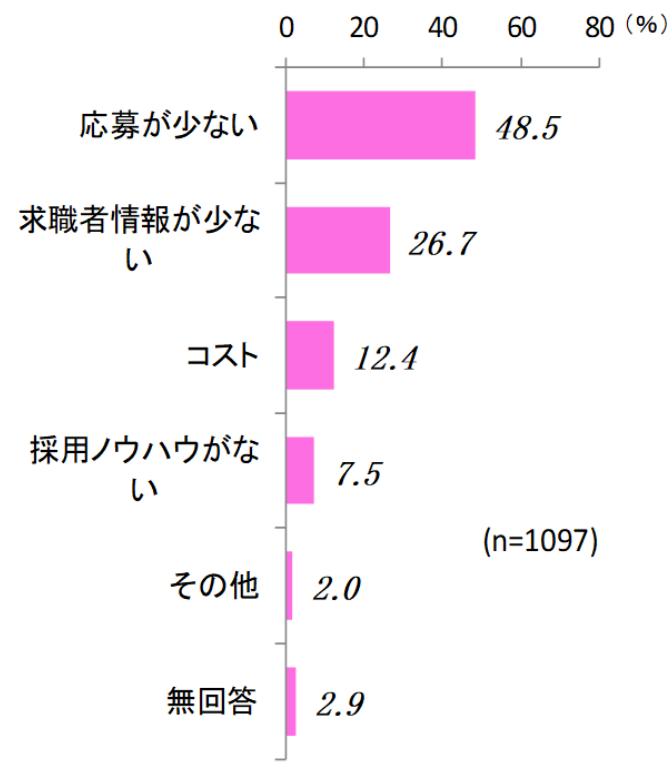
(3)採用における課題

- ・採用における課題は、「応募が少ない」が47.1%(前度比▲0.6ポイント)、「コスト」が23.4%(同+11.0%)、「求職者情報が少ない」が21.5%(同▲5.2ポイント)、「採用ノウハウがない」が7.1%
- ・企業規模にかかわらず「応募が少ない」が最も多いが、その割合は規模が大きいほど小さい

採用における課題 (2025年度)



採用における課題 (2024年度)



3. アンケートの結果

県内企業への就職を選択肢に含む学生は合計63.9% (関西・首都圏企業併願含む)

(1) 就職活動の方針

就職活動の方針	全体		文系		理系	
	学生数	比率	学生数	比率	学生数	比率
兵庫県内企業 のみに就職活動	48	9.4%	35	10.7%	13	7.1%
兵庫県内企業 と関西圏企業に併願活動	222	43.5%	160	49.1%	62	33.7%
兵庫県内企業 と首都圏企業に併願活動	56	11.0%	34	10.4%	22	12.0%
兵庫県外の日本企業 のみに就職活動	58	11.4%	31	9.5%	27	14.7%
海外拠点の企業 に就職活動	5	1.0%	2	0.6%	3	1.6%
企業への就職活動 は考えていない	38	7.5%	22	6.7%	16	8.7%
まだ何も考えていない ・わからない	65	12.7%	37	11.3%	28	15.2%
その他	18	3.5%	5	1.5%	13	7.1%
合計	510	100%	326	100%	184	100%

(2) 就職活動の方針の理由

① 兵庫県内企業のみならず就職活動

- ・学業と両立させるために兵庫県内の企業を中心に回ろうと考えている。
- ・自分にゆかりのある兵庫県で働き、地域のために貢献したいと考える。
- ・生まれ育った兵庫県で就職し、兵庫県に貢献したい、住み続けたいから。

② 兵庫県内企業と関西圏企業に併願活動

- ・家から近くで兵庫県も含めて関西圏には良い企業が沢山あるから。
- ・関西圏は「実家との距離」と「企業集積地域」の就職活動条件の両立が可能。
- ・地方出身であるが、兵庫県の大学に進学して関西・兵庫県の魅力を感じた。

③ 兵庫県内企業と首都圏企業に併願活動

- ・首都圏には成長環境、多様な価値観との接触機会が多く可能性を試したい。
- ・関西を優先したいものの大企業のほとんどが首都圏にあるから。
- ・将来は地元志向であるが、首都圏の企業・仕事の広がりを選択肢が広いから。

4. 兵庫県就職希望企業ランキング2027【総合ランキング】

(1) ランキングの公表方針について

当初計画

- ・1,000名以上の学生の皆さまから、アンケートの回答を回収する
- ・文系・理系それぞれ100位までのランキングをまとめたうえで公表



調査結果

- ・回答学生数が510名と計画の約半数にとどまった
- ・県内企業を志望する比率が22.6%と当初想定のお3割と比べて低位であった



ランキング

- ・県内企業のみで100位までのランキングをまとめることが適当ではないと判明
- ・初年度は一定の基準に従い文系・理系を分けずに総合ランキングとして発表

(2)兵庫県就職希望企業ランキング2027【総合ランキング】

	企業名		企業名		企業名
1	川崎重工業	11	フジッコ	20	日工
2	アシックス	12	加藤産業	20	兵庫トヨタ自動車
3	神戸製鋼所	13	関西エアポート神戸	26	タクマ
4	フェリシモ	14	神戸トヨペット	27	関西住宅販売
5	シスメックス	15	神戸物産	27	神戸電鉄
6	グローリー	15	六甲バター	27	山陽電気鉄道
7	ロック・フィールド	17	ユーハイム	27	トヨタカローラ姫路
8	ファミリア	18	サラト	31	さくらケーシーエス
9	モロゾフ	18	ホンダ神戸	31	トヨタレンタリース兵庫
10	住友ゴム工業	20	アスカカンパニー	33	関西学院
		20	シマブンコーポレーション	33	神戸マツダ
		20	生活協組コープこうべ	33	東リ
		20	富永貿易	33	兵庫県教育図書販売

※以下の①～④を除く。

①国・地方公共団体および外郭団体、②金融機関およびその関連企業、③病院・介護・社会福祉法人およびその関連法人、④大企業等の子会社
 ※一定人数以上の選択回答のあった企業を合計ポイントにてランキング

(3)兵庫県就職希望企業ランキング2027の特徴

① 上位10社には兵庫県の代表的な有力企業

伝統的な企業に加え、近年特に学生に人気の企業がランキング

→ アシックス、フェリシモ、ロック・フィールド

② 兵庫県を代表するブランド力を持つ企業

ブランド力を持つアパレル・洋菓子メーカー、食品関連企業

→ ファミリア、モロゾフ、フジッコ、加藤産業、六甲バター、ユーハイム

地域経済を支えるインフラ事業者

→ 関西エアポート神戸、生活協組コープこうべ、神戸電鉄、山陽電気鉄道

③ 新しいビジネスモデルや積極的な採用活動を行う企業

新しいビジネスモデルの企業

→ サラト(同窓会を総合的にサポートする会社)

積極的な採用活動を行う企業

→ アスカカンパニー、シマブンコーポレーション、富永貿易

5. 兵庫県就職希望企業調査の活用と来年度調査に向けて

(1) 兵庫県就職希望企業調査の活用

課題認識

兵庫県は20歳から24歳の大幅な転出超過が続いている
原因は学生の県内就職率が30%程度と低く、県外流出していること



仮説

県内に優れた企業が多数存在しているにも関わらず学生に伝わらず
BtoB企業などの学生・その親向けの発信力が不十分ではないか



調査の狙い

『兵庫県就職希望企業調査』は学生の志望企業を県内企業に絞り開示
継続して分析・公表していくことで県内企業の発信力強化の指標に

活用事例

例: 前年比ランキング上昇により、新卒採用の応募者増加につながれば
有意義
⇒ 学生から志望された企業のうち要望する企業に対し、当該企業を
選択した学生の回答内容を有償で提供する予定・・・自社を志望し
た学生の属性や他の志望企業、就職活動方針等の分析が可能

(2) 来年度の調査に向けて

兵庫県就職希望企業調査2027から見えた課題

就職活動中の学生が県内企業を志望企業に挙げる比率

22.6% ※

※就職活動中の学生が県内企業を志望企業に挙げる比率 = $\frac{\text{兵庫県内企業の延べ数}}{\text{学生が回答した志望企業の延べ数}}$

- ・就職活動の方針の中で地元志向・地元愛に溢れる書き込みがあるにもかかわらず
実際は**県内企業が学生から志望されていない現実**にどう取り組むべきか？

本調査の実施理由であり、この比率の改善を指標として毎年、継続していきたい。
県内企業の皆さまの発信力強化の応援を通じて、この比率の向上に取り組みたい。

兵庫県就職希望企業調査2027の反省点

① 調査対象学生数

1,000名の学生のアンケート回収を計画していたが、**計画比、約半数の回収**

② 調査時期

1月から2月に実施したが、後期試験・春休み中であり、**学生への浸透が不十分**

③ 各大学等のキャリアセンターへの趣旨説明

秋ごろから趣旨説明を始めたが、**周知されるには不十分**



兵庫県就職希望企業調査2028の実施に向けて

○ 調査の分析結果を各大学等のキャリアセンターに報告、継続協力の要請する

○ 調査実施時期を早め効果的な時期に学生への浸透を図る

○ 連携機関を拡大する等の工夫をして、参加いただく学生の皆さまの増加に努める

一般財団法人ひょうご経済研究所は、みなと銀行とともに兵庫県の課題である「県内就職率の向上」に取り組んでまいります。

兵庫県内の企業の皆さまの取り組みや採用の方針等の学生向け对外発信を、本調査を通じて応援してまいります。

また、県内企業の皆さまの採用活動を応援する多彩なメニューを紹介するなど採用活動のお手伝いをさせていただきます。【後掲、「ご参考資料」ご参照】

一般財団法人ひょうご経済研究所

一般財団法人ひょうご経済研究所



■ 所在地 〒650-0015 兵庫県神戸市中央区多聞通2丁目1番2号 大森・みなとビル5階

TEL 078(360)1871 FAX 078(360)1873

URL <https://heri.or.jp> E-mail heri.hg@minatobk.co.jp

■ 理事長 武市 寿一（株式会社みなと銀行 取締役会長）

■ 設立 1983(昭和58)年 3月18日〔2012(平成24)年 4月 1日 財団法人から一般財団法人へ移行〕

■ 事業内容 ①経済、産業、企業経営および地域開発・地域づくりに関する調査研究および情報の収集

②企業経営等に関する相談業務及び企業診断業務

③講演会、研究会、研修会等の開催

④機関誌、調査研究報告書等の出版物の発行

⑤県内産業等の振興を目的とする諸事業への賛同および助成

⑥その他前条の目的を達成するために必要な事業



■ 主な実績 2024年度 みなと銀行「兵庫県内中小企業の景況調査」(四半期ごと)の分析・とりまとめ受託
神戸ファッション協会「神戸ファッション産業規模調査」(3年ごと)の調査・分析・報告受託
神戸空港の国際化に伴う経済波及効果の推計(2025年3月18日対外公表)

2025年度 みなと銀行「兵庫県内中小企業の景況調査」(四半期ごと)の分析・とりまとめ受託
兵庫県就職希望企業調査2027の実施(2026年1~2月調査実施済み)
ジーライオンアリーナ神戸における各種調査協働研究への参画(実施済み)

ご協力いただいた大学・短期大学・高等専門学校等、連携機関の皆さま

明石工業高等専門学校

芦屋大学

大手前大学

大手前短期大学

関西国際大学

関西学院大学

甲南女子大学

甲南大学

神戸医療未来大学

神戸海星女子学院大学

神戸学院大学

神戸芸術工科大学

神戸工業高等専門学校

神戸松蔭大学

神戸情報大学院大学

神戸女子大学

神戸女子短期大学

神戸大学

園田学園大学

兵庫県立大学

兵庫大学

武庫川女子大学

桃山学院大学

流通科学大学

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

一般社団法人大学都市神戸産官学プラットフォーム

株式会社ダイネンヒューマンPlus

株式会社みなと銀行